

2023年12月18日 甲府市議会本会議討論

甲府市の水道料の値上げに同意しないと共に 国と市に財政措置をもとめる討論

山田 厚

物価高騰期だからこそ、議案第98号 水道事業給水条例の一部改定の条例に

つまり、水道料金の負担増に反対するものです。

●議案が出された当初、私たちは、このように考えていました。

- ・この物価高騰期に、件数にして85%もの小口径の13ミリも引き上げるのか、おかしいじゃないか。ハウスメーカーが進めている20ミリだけの引き下げも不思議？
- ・むしろ、この時期こそ減額免除制度を考えるべきで、生活困窮家庭への料金設定も考えるべきだ。
- ・上下水道局の企業の経営努力も、全国先がけてしてきたはず。
- ・甲府市の水道事業は全国的にも優良経営で、現金も30億円以上は持っているはずだ
- ・しかも水質の自然環境も甲府盆地の水は良く、他都市の水道よりよりおいしく低廉で済むはずだ。

●そうすると、施設の耐震化防災対策と更新にともなう費用なのか？水の有収率の低さも、施設の老朽化だろう。でも、その場合、公営企業といっても国の補助金や操出基準もあるはずだと

確か、国が目標を掲げて。耐震化基幹路は60%だったはずと—と考えていました。

●しかし、問い合わせも頻繁にし、様々に調査していくと、負担増の本質は、それだけはありませんでした。それと共に、国の財政措置です。地方公営企業への操出金、補助金、交付金が、ほとんどない状態だからです。

これは、日本水道協会・全国市長会・中核市市長会でも、国に毎年、要望・提言しているように、財政措置が実質になされていないで、水道会計まかせ、つまり市民の水道料金負担ませにしていることでした。

●今回の水道料金の負担に「賛成する場合」も、「反対する場合」も、国の財政措置もこれからの企業債の高い金利についても不誠実であり、このことの是正しかありません。

●また、これから3年間の水道施設149億円、下水道施設125の更新等のぼう大な事業費でどうなるのか？職員の多忙化ではありません。

この国の是正がない限り、このままでは、今回の水道料金の値上げは今回だけに止まらず、企業債の発行と共に、次には、下水道料金の値上げもあり、また水道料金の値上げともなります。

上下水道局は連続料金値上げが続くことは確実です。

●いうまでもなく、水道は「いのちのライフライン」です。ある意味で税金より丁寧な対応が必要です。

●また、市の一般会計からも一定の減額免除などの財政措置が必要ですが、それも今回、全くなされていません。

今回を、上下水道料金の連続大幅値上げの開始年度にしてはいけません。s 物価高騰期だからこそやるべきことではありません。

安定供給をもとめ、国に、そして市の一般会計から財政対策をもとめ、今回の値上げを安易に許さないためにも同意いたしません。

以上